

# 鶴ヶ岡振興会新聞

発行元：鶴ヶ岡振興会  
発行責任者：小畑 学  
TEL:0771-76-9020  
FAX:0771-76-9021

## 令和8年度 鶴ヶ岡振興会定期総会開催

鶴ヶ岡振興会総会が開催され、新年度の事業方針や予算案などについて話し合われました。会長あいさつでは、令和7、8年度任期の2年目として、前年に十分実施できなかった事業を継続・充実させ、「住みたい・住み続けたい地域づくり」を目指して取り組んでいく方針が示されました。

総会では、空き家対策として南丹市定住促進サポートセンターと連携し、空き家バンク登録や片付け支援制度の活用を進めることが説明されました。また、旧鶴ヶ岡小学校施設の利活用や地域イベントを通じた交流人口の増加についても提案がありました。

高齢者支援では、無償移送サービスや雪対策支援事業を引き続き実施することが報告され、支援者不足への協力も呼びかけられました。あわせて、防災や見守り活動、地域交通の案内整備、情報発信強化にも取り組む方針が示されました。

環境整備事業では、6月、9月の環境整備作業や資源ごみ回収、人権学習会、ニュースポーツ大会、法明寺桜ライトアップなど、年間行事予定について説明がありました。

予算案については、振興会運営費や各部事業費、高齢者支援事業費、振興会施設トイレの洋式化改修費などが提案され、審議のうえ承認されました。トイレ洋式化については、市補助金を活用して整備を進める予定です。

また、質疑応答では、

高齢者等移送サービス事業について、細心の注意を払い安全な運行を心掛けていただきたいという意見が出されました。

今後とも安全運転に心がけたいと答弁がありました。

そのほか、災害時連絡網の整備や地域行事日程の共有、消防団など各団体からの活動報告も行われました。

最後に新年度役員紹介が行われ、地域全体で協力しながら鶴ヶ岡地域の活性化に取り組んでいくことを確認し、総会を閉会しました。

主な行事予定

- ツルガオカカンキョウセイビ 6月7日(日)
- 夏まつり 8月22日(土)
- 音楽祭(音にふれよう) 9月19日(土)または20日(日)
- 人権学習会・ニュースポーツ体験会 10月中旬
- 実りの秋まつり 11月15日(日)
- 資源ごみ回収 11月29日(日)

※あくまで予定です。変更する場合は振興会新聞やチラシでお知らせします

### 令和8年度予算概要

【収入の部】

金額：円

前年度繰越金	437,755	
振興会費	1,200,000	
補助金	1,600,000	南丹市・環境保全活動・定住促進イベントほか
事業収入等	380,245	事業収入・雑収入・高齢者除雪事業
収入合計	3,618,000	

【支出の部】

金額：円

報酬	755,000	役員報酬・区長報酬
補助金・負担金	450,000	各公民館・消防・遺族会・スポ少・緑の少年団ほか
需用費等運営費	570,000	需用・役務・コピー利用料・旅費・交際費
活動費	1,430,000	
企画総務部	250,000	振興会新聞・鶴ヶ岡ふるさとレスキュー 府道綾部美山線促進協ほか
地域振興部	600,000	夏まつり・秋まつり・おすそ分け事業 ゴーヤ植栽・定住促進イベントほか
生涯学習社会教育部	350,000	資源ごみ回収・環境整備・音にふれよう 人権学習・スポーツ事業ほか
鶴小利活用部	30,000	研修会他
無償移送サービス	200,000	維持費・運行経費ほか
繰出し金等	413,000	繰出し金・高齢者除雪事業・雑費ほか
支出合計	3,618,000	

## まなづるサロン

### 令和8年度まなづるサロンスタート

4月のサロンは、春のお出かけ「桜お花見」です。4月10日、午前10時頃から、各バス停留所で順次マイクロバスに乗車し、14名の参加者とドライバー含むスタッフ6名、一路「道の駅スプリングス日吉」を目指して出発しました。

到着後、さっそく野菜売り場を確認される姿もありましたが、午後1時まで、ゆっくりと昼食と買い物で楽しんでいただきました。その後、日吉ダム管理棟の公園、府民の森・ハピローの森公園をドライブしました。

桜の代表ソメイヨシノの時期は過ぎましたが、長谷運動公園のしだれ桜は最高の姿をみせてくれました。生憎の雨模様でスタートしましたが、そのころには雨も上がり、桜並木を全

員で散策しました。大きな水たまりには、満開の桜と緑の木々の水鏡が見られ、歓声もあがっていました。そして、鶴ヶ岡・盛郷の川沿いの桜並木も、バスを低速で走らせてもらい、ゆっくり眺めました。

どんな天候でも、どこへお連れしても、皆さん笑顔で楽しんでいただきますので、スタッフも嬉しく感じています。今年度も、皆さん楽しく過ごしましょう。

5月13日は砂木の公園でグラウンド・ゴルフをしました。

6月10日は、林健センターで「コケ玉」作りを予定しています。

本サロンは、鶴ヶ岡在住の65歳以上の方なら、いつからでも参加いただけます。興味のある方は、鶴ヶ岡振興会までお電話ください。

## 法明寺桜ライトアップにぎわう

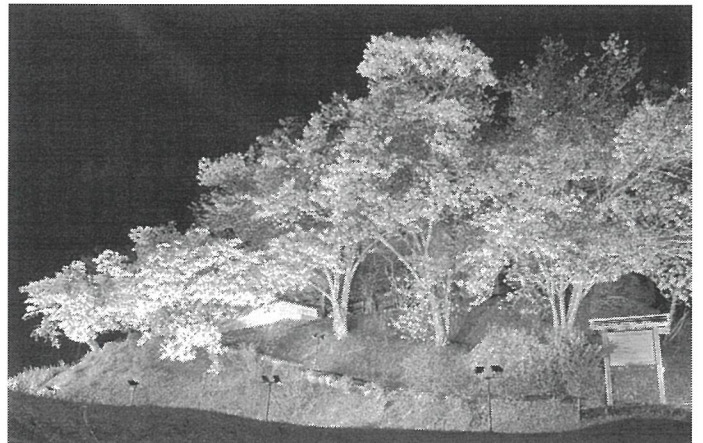
4月19日、20日の2日間、恒例の「法明寺桜ライトアップ」が行われ、幻想的に照らされた夜桜を多くの来場者が楽しみました。

19日には「ごんせ」による屋台も並び、会場は家族連れや地域の人たちでにぎわいました。満開の桜の下では、春のひとときをゆったり過ごす姿が見られました。

また、2016年から法明寺桜の再生に協力いただいた桜守・佐野藤右衛門の他界にも触れられ、その功績をしのぶ声が聞かれました。

佐野さんの著書『桜渉』には法明寺桜についても記されており、昭和初期、若き日の佐野

さんが「美しい桜がある」と聞き、省営バスに乗って美山を訪れ、この桜と出会ったことが紹介されています。



## サークル花づる

5月19日に、視察研修で大阪方面へ行ってきました。研修で学んだことを、今後の地域づくりにも生かしていけたらと思っています

また、第43回全国緑化フェア関連の「おもて

なし風景づくり補助金」を5月に申請しました。6月には決定される予定で、「花づるの丘」などに花を植える計画を進めています。

地域のみなさんに楽しんでもらえるよう、少しずつ景観づくりを進めていきます。

連載(11)：美山町包括ケアシステム

●健康に住み続けられるまち、美山を目指して (神戸大学大学院医学系研究科 准教授)

美山林健センター診療所所長 西岡大輔  
(神戸大学大学院医学系研究科 准教授)

先日、大野地区で「健康(健幸)の森づくりワークショップ」を開催しました。「自分にとっての健康(健幸)の秘訣=健康因」を葉っぱに書き出し、グループで「健康(健幸)の木」をつくり、それぞれの木を集めて「健康(健幸)の森」にし、自身・地域の健康の秘訣が見える化する取り組みです。

参加者からは、「畑仕事のあとに飲むお茶」「近所の人との話」「草刈りや地域の掃除」「笑うこと」「(誰か)に必要とされること」「(場所)へ行く日課」など、日常のささやかな営みがたくさん挙げられ、とてもイキイキと楽しそうに取り組んでくれました。当

り前とっていた暮らしの中に、健康(健幸)のクスリが隠れていることを再発見しました。健康(健幸)は、自分だけでつくるものではなく、人や地域との関わりの中で育まれているのだとみんな気づきました。

今回できあがった木は、それぞれ形も葉っぱも違いました。一人一人に違う健康(健幸)があり、その違いが森の豊かさになります。

「健康(健幸)の森」を一緒に育ててくれる方、ワークショップをやってみたい方、地域で一緒に活動してくださる方を募集しています！

## 鶴ヶ岡地域の企業、団体紹介

### (株)美山ヴィレッジ

(株)美山ヴィレッジ村長の中村貴生です！

松尾と名島で宿泊施設を運営しながら、地域の皆さまとともにイベントなどを行っています。

美山町の大切な資源を使わせてもらいながら、日々成長させていただいております。

私は美山町が大好きです！この場所が未来永劫続いて、住民のみならず日本人が幸せを享受できる豊かな未来を創造していきたいと考えています。

アルバイト募集中。時給 1,500円～  
日時応相談。(電話080-9407-8319)



高齢者等無償移送サービス  
お気軽にご利用ください

移動支援サービスのご案内

鶴ヶ岡地域では、事前登録された高齢者や障がいのある方などを対象に、地域内の移動支援サービスを行っています。

買い物や郵便局、理美容室、サロン活動などにも利用でき、たなせん営業日の午前9時～午後6時の間で利用できます。

詳しくは、鶴ヶ岡振興会またはムラの駅たなせんへお問い合わせください。

当面の予定

- 5月29日 (金) 京都銀行移動店舗車  
10:00～15:00 たなせん横駐車場
- 6月7日 (日) ツルガオカカンキョウセイビ  
9:00～ 旧鶴ヶ岡小学校
- 6月10日 (水) まなづるサロン  
13:30～15:30 林健センター
- 6月14日 (日) 花づるの丘作業日  
8:30～
- 6月29日 (月) 京都銀行移動店舗車  
10:00～15:00 たなせん横駐車場

佳句への秘訣 小畑翠光

食の考古学 「夜漬けと鰻」

小学生のころ、高学年になると夜漬けという鰻獲りをした。田植えが始まるころになると鰻が海で育って由良川を登ってくる。それを狙って川を横切る形で独特の大きな針の先に、鮎か鱒を餌に付けた仕掛けを夕方に獲れそうな場所に張り巡らせた。

そう簡単に獲れるものではなかったが、二匹も獲れることもあったり、他の大きな魚が獲れたりすることもあった。朝も夜が明けるまでくらいに見に行かないと鰻は逃げてしまうこともあったので、とにかく子ども心には楽しみな川遊びであった。獲れたものは父が料理をして、夜は家族が喜んで賞味した。

「高友句会」

制服の孫にカメラや春うらら

川上容子

風光る平和に暮らす日々感謝

山崎マキ子

オリンピック凄じ技見せ二月冬

ろ削ヒサエ

満開の空を押しあぐ桜かな

松魚継代

慢心に不覚の一打春寒し

小畑翠光